



留学だより Vol.7

こんにちは。ドイツのミュンヘンに留学中の松木です。今回は3月にしたことをまとめていきたいと思います。3月はスイスに行ったりチェコに行ったりと旅行の多い一か月でした。

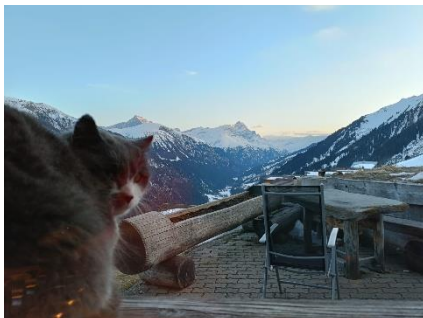
◎スイス旅行

なんと留學生活で三回目のスイス旅行に行ってきました。ヨーロッパ留学のいいところは国の中も電車で簡単に移動できるし、EUなのでほかの国にも行けることだとよく思います。留学中に行けるだけヨーロッパのいろいろな都市を回って見たいです。

今回のスイス旅行もスキーがメインの旅行でした。雪は残念ながら全然降らなかったのですが、かなり暖かくなっていたのにまだ雪が残っていたので、一週間毎日スキーすることができました。スキー場は牧草が生えている丘の上にあるので、整備されていないところもすべることができます。ホストブラザーと楽しんでいたのですが、雪が解けて牧草がむき出しになっているところに気づかず危うくけがをするところでした。ここの村に泊まっていると、農家さんがまだ少し温かい牛乳を持ってきてくれ、休暇に来るには最高のロケーションだと改めて思います。



←山を背景にみんなで



ワイルドな猫たち



◎チェコ

私が選んだ留学エージェントでは、留学期間で1, 2回旅行があります。今年は、チェコかポーランドの二つの選択肢があったのですが、チェコに一回行ってみたかったのでチェコを選びました。ポーランドの方も有名なアウシュヴィッツ強制収容所にいけるプランがあり、そちらの方も魅力的でした。

私が選んだ留学エージェントはYFUという団体なのですが、YFUは現地での対応が非常に良いと感じています。私はドイツのバイエルン州に住んでいるのですが、二か月に一回ぐらいの頻度で日帰りの観光メインのアクティビティーを開催してくれるのでいろいろな街を見て回り、他の留学生と仲良くなれるのでありがたいです。そこで会った留学生ともたまに会っています。ドイツに留学している人なんてそんなにいないだろうと思っていたのですが、実際かなりいます。特にアジア人がかなり多いです。アメリカやカナダほどではないですが、世界中からの留学生と交流できるのもドイツ留学の魅力です。

ミュンヘンからチェコまでは意外とそこまで遠くなく、バスで5時間ほどでした。プラハについてから電車で1時間ほど揺られ、ホテルにつきました。今回のチェコでの旅行は、旅行というよりセミナーのようなもので、ドイツ人の学生とチェコの学生と一緒に一週間過ごすという内容でした。チェコの人たちはドイツ語ができないので英語での会話でしたが、みんなまだ中学生ぐらいであまり英語がうまくないこともあり、なかなか意思疎通が難しかったのですが、みんな優しく、日本について聞いてきたりチェコの食事や文化を紹介してくれたりと観光するだけではわからないことを教えてもらえました。

このプログラムでは主にチェコの歴史や民主主義について学びました。プラハといえば、「プラハの春」を思い浮かべる人が多いかなと思いますが、ドイツとロシアの間にあり、第二次世界大戦や冷戦などでかなり影響を受けていたらしいです。共産主義時代のチェコやその後の運動についてみんなで学びました。

もちろんホテルの中で研修するだけではなく、プラハでの自由時間がありました。プラハはなんと街全体が世界遺産に登録されているほど綺麗な街です。チェコの子たちやほかの留学生と回りました。チェコの名曲“Moldau”で有名なモルダウ川にはたくさんさんの古い橋が架かっていて、いくつもの像が橋の上に立っていました。プラハ全体

でほとんどの建物が古いのでどこにいてもゴシックの時代にいるような気分になります。特にプラハ城にある教会は圧巻でした。

チェコ料理も試しました。チェコの学生にすすめてもらったスヴィチュコヴァーという牛肉をソースで煮込んだ料理を試しました。名前が難しくて言えませんでした、やわらかい肉と濃厚なソースのコンビが最高でした。煮込み料理にはクネードリキという蒸しパンが必ずついてくるそうです。友達はピルスナービールで有名なチェコ本場のビールを楽しんでいました。

街も人も食べ物もよかったので将来是非もう一回チェコに行きたいなあと思いました。



←ジョンレノンウォール

チェコの教会→



有名なドナウ川とプラハの街並

世界一狭い通り→





←有名なピルスナービール

伝統料理→



◎ドイツ語

まだドイツ語について書いてなかった、と思うので、ドイツ語の紹介をしようと思います。

ドイツ語という発音がアグレッシブで単語が長いというイメージがついていますが、そのイメージ通りです。複数の単語をくっつけて一つにすると違う意味の単語になるので、どんどん長くなります。聞いていても正直かっこよさはないですが、そのちょっとダサいところが魅力です。

英語やスペイン語、フランス語と違いドイツ語圏はドイツ、スイス、オーストリアととても小さく、人口も少ないので、実用性はそこまでないかもしれません。ただ、ドイツ語は英語のもとになっている言語なので学びやすいし、英語の理解も一応深まります。実際、文法はほとんど同じです。単語も発音が違うだけで見たことあるアルファベットの並びがたくさんです。ドイツのアルファベットには英語のものに加えて、Ü, Ö, Ä の3つのウムラウトという文字があります。目がついているみたいでかわいいですね。